

第49回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会・監督者会議資料

大会規模：参加クラブ数 781クラブ／参加人数3,006名（男子1,621名 女子1,385名）

個人種目数4,752種目／リレー種目数428種目

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2026 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は年齢区分ごとにタイムスケジュールどおりに行う。予選は 10 レーン、決勝は8レーンで行う。
- (3) 予選競技は各種目ともタイムレースで行う。出場者が8名以下の場合、予選は行わない。
- (4) 決勝は全種目行い、予選申込者 25 名以上の場合、B決勝を行う。但し、リレー種目および 15～16 歳・チャンピオンシップは、チャンピオンシップの女子 800m・男子 1500m自由形を除き、決勝のみとする。
よって下記種目は、予選申込者 25 名未満のため B 決勝を行わない。
・No.143 C S 女子 800m 自由形 ・No.145 C S 男子 1500m 自由形
- (5) 決勝・B決勝進出者に棄権が出た時は、B決勝がある場合は補欠3名、B決勝がない場合は補欠2名の上、次点者から順次出場権を与える。
- (6) 決勝進出は、同記録で定員を超えた場合、200m以下の個人種目のみスイムオフを行う。
400m以上の個人種目、リレー種目、およびB決勝・補欠が同記録で複数いる場合、抽選によって優先順位を決定する。
同着抽選については、ランキング発表後 15 分以内にリブリューションに選手もしくは監督・コーチが集合して抽選を行う。定刻以内に揃い次第、審判長・記録員が立会いの下、抽選を行う。
定刻までに集合しなかった場合は、抽選の権利を放棄したものとみなす。
- (7) 招集は競技開始 10 分前から行う。
本人確認の為、必ずADカードを持参すること。招集の際にADカード・水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、予選競技開始 20 分前(8:40)までにリブリューションに届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は棄権料個人種目 3,000 円、リレー種目 5,000 円の棄権料を徴収する。なお、B決勝・決勝を棄権することはできない。
やむを得ずB決勝・決勝を棄権する場合は、出場種目ランキング発表後 30 分以内に棄権料個人種目 3,000 円、リレー種目 5,000 円を添えて届け出ること。予選、B決勝、決勝いずれも無断棄権の場合はさらに 3,000 円を徴収する。
- (9) 予選競技においてリレーオーダーを変更する場合は、予選競技開始 20 分前(8:40)までにリブリューションへリレーオーダー用紙を提出すること。※変更しない場合は、提出は不要となる。
リレーの決勝出場全チームは、出場種目ランキング発表後、1時間以内にリレーオーダー用紙をリブリューションへ提出すること。なお、補欠チームも提出が必要となる。
- (10) (8)・(9)の件で、会場へ来られない場合は、日本水泳連盟事務局へ当日の予選競技開始 20 分前(8:40)までにFAX(03-6812-9062)にて連絡すること。
- (11) 決勝リレーオーダー用紙を時間内に提出をしなかった場合は、出場を放棄したものとみなす。
- (12) プログラムの訂正およびミスプリントは、8:40 までに所定の用紙に記入の上、リブリューションに届け出ること
前日に提出可能な届出は受け付ける)
- (13) 予選競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート後、速やかに横退水する。背泳ぎは自レーン退水後に、次組のスタートを行う。
決勝競技はフリーリレー、メドレーリレーを除き横退水とする。
ただし、フリーリレー、メドレーリレーについては、速やかに自レーンより退水すること。
- (14) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。
- (15) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (16) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中ビデオカメラシステムを使用する。
- (17) 予選は組のみの紹介、決勝は選手紹介を行う。CSの決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (18) 本大会は上訴審判団を設置する。
上訴審判は、齋藤由紀、八塚明憲、丸笹公一郎、村松さやか、内田孝太郎とする。
- (19) 本大会はADコントロールを行うので、ADカードを常時首から下げていること。

2. 表彰・得点・記録証について

- (1)1位～3位にメダルならびに賞状、4位～8位に賞状を授与する。
- (2)12 歳以下の個人表彰は8位まで行い、リレー種目、13 歳以上の表彰は3位まで行う。
- (3)全ての賞状は、1階西側入口受付の賞状渡し所で受け取ること。
- (4)決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。
- (5)12 歳以下の団体、優秀選手、優秀コーチの表彰は、2日目 12 歳以下の全競技終了後に行う。
- (6)優勝した選手は個人表彰の対象となる可能性があるので総合表彰まで残ること。表彰に残れない選手は必ずリリフレッシュに申し出ること。
- (7)団体総合表彰として8位までを表彰する。
- (8)クラブ対抗の得点、CSにおける 16 歳以下の入賞者に対する加算点、対抗戦同点の順位は要項による。
- (9)記録証は日本水泳連盟ホームページより記録証印刷システムを使用し、各クラブで印刷すること。

3. 全体スケジュール

日 時	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
8月 21 日(金)	公式練習日	13:00	練習時間(開門～18:00)				18:30
8月 22 日(土)	1日目	7:15	9:00	13:25	14:15	18:00	18:30
8月 23 日(日)	2日目	7:15	9:00	13:40	14:10	18:55	19:25
8月 24 日(月)	3日目	7:15	9:00	13:30	14:00	18:00	18:30
8月 25 日(火)	4日目	7:15	9:00	14:50	15:20	19:15	19:45
8月 26 日(水)	5日目	7:15	9:00	12:50	13:20	16:00	16:30

・22 日(土) アスリート委員会によるトークショー13:30～ / 開始式 14:00～

・23 日(日) 12 歳以下総合表彰2日目 17:45～

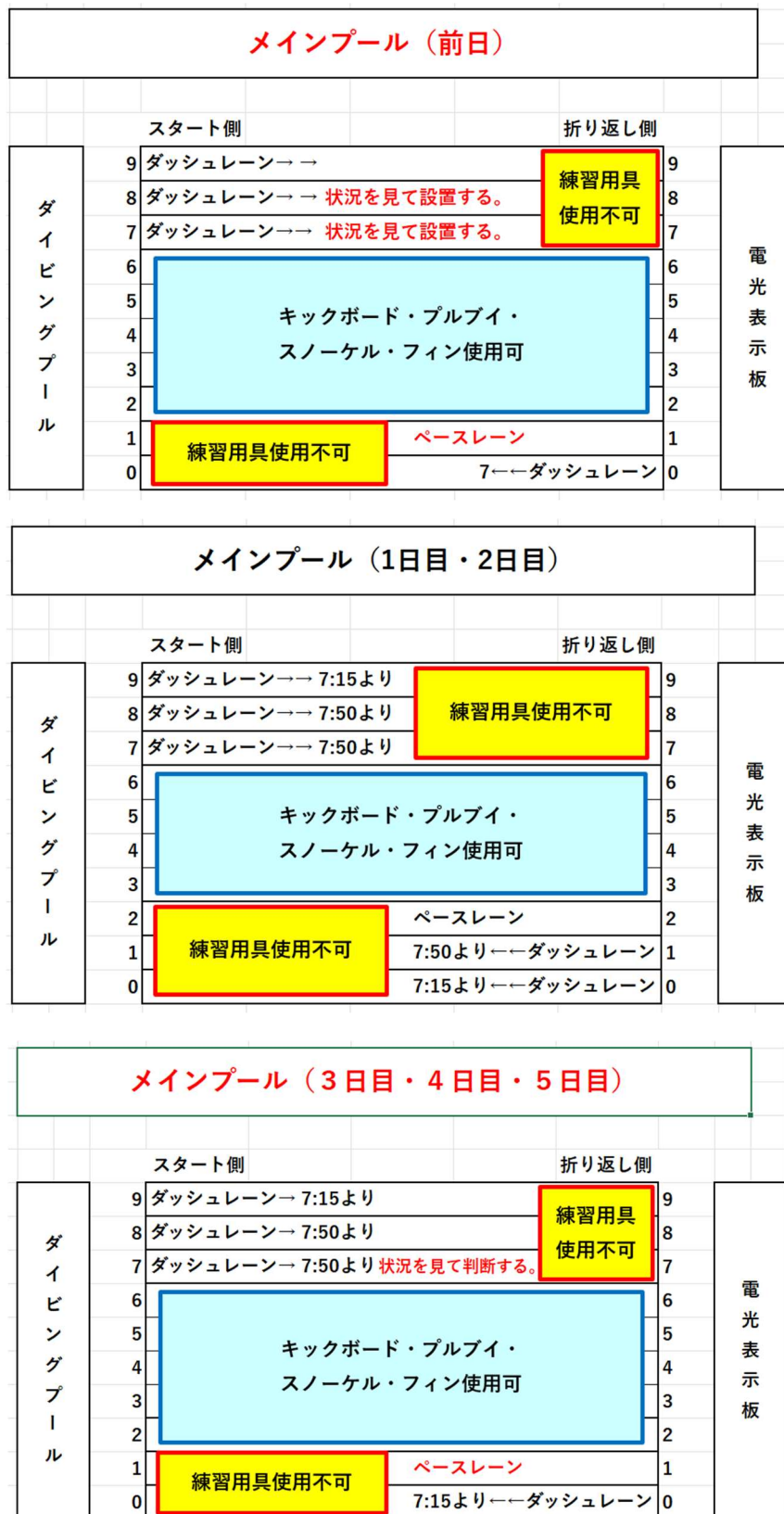
・26 日(水) 閉会式5日目 16:10～

※入場は 7:15 より西側1階・2階の両方から入場できる。7:45 からは西側2階のみとなる。

4. プールの使用について

(1)メインプール

- ① 水深は 3.0mに設定する。
- ② 水温は 28.0 度に設定する。
- ③ 入水はダッシュレーンを除き、足から静かに入ること。
- ④ 競技開始前のウォーミングアップは、当日予選競技出場者のみの使用とする。
- ⑤ 昼休みの練習については、決勝進出者のみの使用とする。
練習時間は、1日目(開始式のため)を除き、決勝競技開始 10 分前まで使用できる。
1日目 予選競技終了後、13:50 まで 2日目 予選競技終了後、14:00 まで
3日目 予選競技終了後、13:50 まで 4日目 予選競技終了後、15:10 まで
5日目 予選競技終了後、13:10 まで
- ⑥ ダッシュレーンは0・9レーンとする。
1・2日目のレーン増設(1・7・8レーン)とする。3・4・5日目のレーン増設(7・8レーン)とし、通告
および電光表示板で案内を行う。
- ⑦ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑧ 公式スタート練習は、行わない。
- ⑨ **1・2日目は、2レーンを、3・4・5日目は、1レーンをペースレーンとし、監督・コーチの管理下で行う。**
- ⑩ キックボード、プルブイ、スノーケル、フィンの使用は、3～6レーンで使用することができる。
それ以外の練習用具やレーンでの使用は禁止とする。



(2)サブプール

- ① 水深は 3.0mに設定する。
- ② 水温は 28.0 度に設定する。
- ③ 入水はダッシュレーンを除き、足から静かに入ること。
- ④ サブプール0～4レーンを女子専用、5～9レーンを男子専用とする。
1・8レーンをペースレーンとする。（前日16:00～/初日以降常時）
- ⑤ ダッシュレーンは0・9レーン（バックストロークレッジ付きスタート台を設置する）。
- ⑥ キックボード、プルブイ、スノーケル、フィンの使用は、2～4レーン、5～7レーンで使用する事ができる。
それ以外の練習用具やレーンでの使用は禁止する。



(3) ダイビングプール

- ① 解放はしない。
- ② 表彰にかかわる場合や決勝種目が重なる場合のみ、ダイビングプールでのダウンの使用を認める。使用する前に必ず招集員へ申告すること。

5. 水泳場の使用について

- (1) ADカードを持っている選手・監督・コーチ・関係者以外は入館できない。
- (2) ADカードは、館内にいるときには常時首から下げていること。また入場の際は必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
- (3) 監督・コーチ票の変更は、大会当日に変更理由を記載した書面とADカード変更料 2,000 円を添えて提出が必要となる。
紛失・忘れによる選手票の再発行は 5,000 円徴収する。
なお、監督・コーチのADカード再発行は認めない。
※選手・監督・コーチのADカードは、すべて自分で写真を添付(糊付け)すること。
- (4) ADカードに付いている紐は、交換しないこと。
- (5) 競技会場においての「商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (6) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。
- (7) スタンド通路で縄跳び、手すりなどを使用したチューブトレーニングなどは禁止する。

6. 注意事項、その他

- (1) 公式掲示板(速報)は設置しない。
競技結果は、以下の公式サイトにて確認することができる。(決勝スタートリストの販売はしない。)

SEIKO(競泳リザルト速報サービス)「<https://swim.seiko.co.jp/>」

日本水泳連盟公認(Results of Japan Swimming)「<https://result.swim.or.jp/>」



- (2) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (3) 大会当日 18 歳未満の参加者は、18 歳未満競技者親権者同意書(JADA)を必要とする。
各自印刷後、記入の上、各自管理すること。
参照JADAホームページ <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>
- (4) 盗難防止のため、貴重品の管理については、各クラブの責任において行うこと。
- (5) 忘れ物は一般出入り口受付(2 階西側)にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- (6) 日本記録(高校・中学・学童を含む)の発生が見込める外国籍の選手、または日本国籍を得てから3年以内選手は、監督者会議終了後リブリューションまで申し出ること。
- (7) 地震など緊急時の対応は、通告の指示に従って落ち着いて行動すること。
- (8) 予選・決勝ともに「YouTube」にてLIVE配信を行う。
※日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる。